

2021年4月吉日

ユニシス研究会  
北海道支部 会員各位

ユニシス研究会  
研究活動 運営委員会

## 2021年度 研究活動 参加者募集のご案内

拝啓 日頃よりユニシス研究会活動にご協力、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年からの新型コロナウイルス感染は未だ収束が見られず会員各位におかれましては日々の活動に制限がある中、努力を重ねられていることと存じます。

ユニシス研究会では会員の皆様が日常業務の中で抱えている課題等を研究テーマとし、テーマに関する知見を取得するのみに留まらず課題を克服すべく仮説を立て検証し、研究活動成果を報告書として取り纏め発表していただく、一連の会員同士や日本ユニシスグループ社員との情報・意見交換の場、また、相互研鑽の場として、各種の研究活動を推進しています。

新しい日常(ニューノーマル)におけるビジネスヒントの発掘や企業の枠を超えた人材育成、新しい交流の場という目的としてご活用ください。このような状況だからこそできる活動を通じて自社へ活動成果をしっかりと持ち帰っていただけるように、研究グループ毎に日本ユニシスグループ社員によるアドバイザー制度や運営メンバー、事務局によるフォローをしっかりと行っていきたいと思います。

今年度の活動は昨年度と同様に、新型コロナウイルスによる影響を考慮し、Web 会議を主体とした非接触型の活動を中心としつつ、状況を見ながら可能な範囲で対面での活動も取り入れることを検討できればと考えております。Web 会議ならではの移動時間削減、テレワークによる参加のしやすさなどプラス面を積極的に活用し工夫しながらご自身の成長へつなげていただきたいと思っております。

多数のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

### 1. 2021年度研究活動の目的：

- ・異業種交流(年齢や経験、役職を問わず交流)
- ・人材育成(課題解決能力, チームビルディング, プロジェクトマネジメント)
- ・働き方改革による新しい活動形態への挑戦

### 2. 研究テーマ：

テーマは研究メンバーでお話し合いのうえ決定いただきます。

テーマ案は、添付の「2021年度研究活動 活動テーマ案」をご参照ください。

### 3. 参加資格：

ユニシス研究会会員企業（企業の方であればどなたでも参加いただけます。）  
主体的に取り組む意欲のある方を募集いたします。

### 4. 参加費用：

①本年度研究活動費として1企業あたり、¥20,000を申し受けます。

＊ 参加人数に係わらず、1企業あたり、¥20,000

＊ 参加メンバー確定後、参加費用をご請求させていただきます。

②活動のための移動交通費、宿泊などの経費は参加者の負担とさせていただきます。

### 5. 申し込み方法：

添付の「参加申込書」にご記入のうえ、メールにてお申し込みください。

■ お申し込み締切日：2021年 5月19日（水）

### 6. 研究活動の運営について：

①グループは、1グループ／5～7名とさせていただきます。

②主体はご参加いただく皆様です。

基本的にはグループに参加された方の自主活動です。

また、日本ユニシスグループもアドバイザーとして皆様の活動を支援いたします。

### 7. 活動期間と会合回数：

①北海道グループ発足式は、5月25日（火）16:00～17:00を予定しております。

②本年5月より2月末まで（発表会を除く）、グループにより差がありますが、グループ単位にて調整いただく会合として月2回程度の会合を見込みます。

業務に支障をきたす活動は本来の活動の形ではありませんが、近年業務都合等によりグループの会合への参加がどうしても滞るケースが見受けられ、参加されているメンバーの負荷が増えています。

このような状況から、参加いただくにあたり、充分にご検討いただきお申し込みを頂きます様お願い致します。

③来年1月下旬に活動成果を「研究活動報告書」として提出していただきます。

＊ 研究活動運営委員の皆様により、活動報告書の表現力・構成力はもとより、実用性・有効性、先進性・独創性・独自性などの面を考慮して査読審査をさせていただきます。

④来年3月4日（金）に「研究活動成果発表会」としてグループメンバー以外の方々に向けて発表をしていただきます。

（新型コロナウイルスの感染拡大状況により発表形態は変更になる場合があります）

また、各グループリーダー、サブリーダーを対象に8月下旬から9月上旬にグループの中間報告をしていただく予定です。

8. お問い合わせ先:

ユニシス研究会 北海道支部事務局 温山(あたやま)

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目32 日本ユニシス(株)北海道支店内

TEL: 011-558-1111 (平日 9:00~17:30) FAX: 011-737-1161

<mailto:unih3-box@unisys.co.jp>

9. その他:

ご報告いただいた研究活動成果(研究活動報告書、プレゼン資料その他発表資料を含みます。)の著作権は著作者に帰属するものとします。但し、著作者は、ユニシス研究会が情報発信する機関誌や Web サイトにおいて、著作者の研究活動成果の掲載・配布に関する権利(個人名・会社名・所属先の公開を含みます。)をユニシス研究会に無償で許諾するものとします。

以上

## 2021年度研究活動 活動テーマ案

| キーワード | テーマタイトル(案)           | 活動内容(案)   |
|-------|----------------------|---|
| 1     | 働き方改革                | 働き方改革とワーケーション<br>テレワークの拡大により、仕事をする場所(自宅)が会社の所在地に近くである必要がない状況となりつつあるが、もう一歩進めたワーケーションの課題(技術面や運用面)を洗い出して解決することで働き方改革の推進に寄与する。  |
| 2     | 5G                   | 5G/ローカル5G<br>5G対応のスマートフォンが各社から出揃ってきているが、5G対応スマートフォンを利用した新しいビジネスの研究だけでなく、ローカル5Gを利用した会社単位での新しい情報システム基盤の研究についても研究対象とする。  |
| 3     | 人材育成                 | オンライン教育<br>コロナ禍でオンライン教育の導入が加速し、リットデリットを体感する機会が増えた。小学校～大学、社会人向け、企業内の教育など、様々なシチュエーション、手法における技術面、運用面の課題を整理し解決策や有効性を高める方策を検討する。   |
| 4     | デジタルマーケティング          | デジタルでリアルな消費者行動の変化を捉える<br>社会構造のデジタル化に伴い、消費者行動が変化している。これに対応するためには今後の企業には、より強い、より多くの顧客とのエンゲージメントが重要となっている。現在成長しているビジネスモデルを研究することで、自社に適合する仕組みを検討していく。   |
| 5     | DX推進                 | 企業のデジタル変革事例から学ぶ推進策<br>デジタル庁が発足するなど、デジタル後進国の日本においてもようやく本格的にデジタル変革が始まっている。はやく自社でもデジタル変革を行うためにもこれまでの成功事例を研究することで社内での推進を促進させる方策を検討する。   |
| 6     | withコロナのシステム開発プロジェクト | withコロナにおけるシステム開発のチームビルディング<br>これまで一か所に集約しての開発スタイルが中心であったが、地方にいるメンバーのリモート開発が可能となったことでプロジェクトチーム編成時の注意点や環境、意思疎通など様々な注意点を洗い出し、実践に活用する。   |
| 7     | eスポーツ                | eスポーツによる地域創生<br>新たなスポーツとして注目されている「e-スポーツ」。異業種参入などこれから大きなビジネスチャンスになっていく分野として注目されている「e-スポーツ」をテーマに、具体的に分野を取り上げて実現までに至るアイデアを研究する。   |
| 8     | AI                   | お試しから始めるAI活用<br>RPAやAI等、重要性や効果が期待されるIT技術があることは分かっているものの、二の足を踏む企業はまだ多いと思われる。また、安易に導入すると失敗してしまうことも、これらのある意味特徴でもある。このような中、安価なAI処理ボードが発売されたこともあり、初期検討のハードルは下がってきた。まずは基礎を体感+理解し、それから徐々に商用サービスのPoCに移行することも良いのではなかろうか。本研究を通じて簡易的なシステムを構築し、AI導入の注意点やポイントを学び、AI全体像の理解について考察を深める。 |
| 9     | DevOps NoOps         | 新しい開発と運用の姿<br>開発プロセスは、早期稼働、低コストを目的に、ウォーターフォール型から、大きく変化している。一方、運用プロセスにおいては、開発・運用の分離を基本とし、開発プロセスの進化に追いついていない。DevOps, NoOpsを実現する上で、どのような体制、プロジェクトの進め方が必要となるかを検討する。   |
| 10    | ICTによる地域経済活性化        | 地域の企業とICT<br>地域経済の活性化のため、ICTがどのような役割を果たし得るかを分析し、可能性を整理する。企業へのアンケート調査の結果や企業の先進的なICT利活用事例の分析を通じて、地域経済活性化に資する企業での実効的なICT利活用の在り方を検証する。  |

※具体的な、テーマタイトルならびに活動内容につきましては、グループ形成されたメンバーの皆様でご検討いただきます。

ユニシス研究会 北海道支部事務局 行

E-mail: [unih3-box@unisys.co.jp](mailto:unih3-box@unisys.co.jp)

## ユニシス研究会北海道支部「研究活動」参加申込書

### 【個人情報の取り扱いについて】

ご入力いただくお客様の個人情報は、日本ユニシス株式会社、並びに当社のグループ企業、及びユニシス研究会が、1)本セミナーに関する連絡・確認、2)当社および当社のグループ企業等からの製品・サービスに関する情報提供、イベント・セミナー等のご案内及びマーケティングの目的で利用させていただきます。

ご入力いただいたお客様の個人情報については、当社の「個人情報保護基本方針」に従い、厳正に取扱います。なお、個人情報の開示、訂正、削除、情報提供の停止等のお申し出、その他ご質問がございましたら、下記のお問合せ先までご連絡いただくか、当社ホームページからお申し出ください。また、当社グループ企業への個人情報の提供と、各社の個人情報保護方針については、下記リンク先よりご覧ください。

ー当社グループ企業への個人情報の提供について [https://www.unisys.co.jp/com/privacy/o\\_group.html](https://www.unisys.co.jp/com/privacy/o_group.html)

ー日本ユニシスグループ企業 各社個人情報保護方針 <https://www.unisys.co.jp/com/group.html>

ーユニシス研究会 個人情報保護方針 <https://www.yuni-ken.gr.jp/privacy.html#1>

以上の個人情報に関する取扱いにご同意いただけましたら、次の「同意する」にチェックをお願いします。

【個人情報管理者】ユニシス研究会事務局長

同意する

【個人情報の問合せ窓口】ユニシス研究会 北海道支部事務局

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目32 日本ユニシス(株)北海道支店内

TEL: 011-558-1111 (平日 9:00~17:30)

### 【ご参加者】

|              |     |
|--------------|-----|
| 貴社名          |     |
| 所属<br>役職名    |     |
| フリガナ<br>参加者名 |     |
| メールアドレス      |     |
| 電話番号         | ( ) |
| 連絡欄          |     |

※複数名ご参加の場合は本紙をコピーの上ご利用下さい。